

安全張力

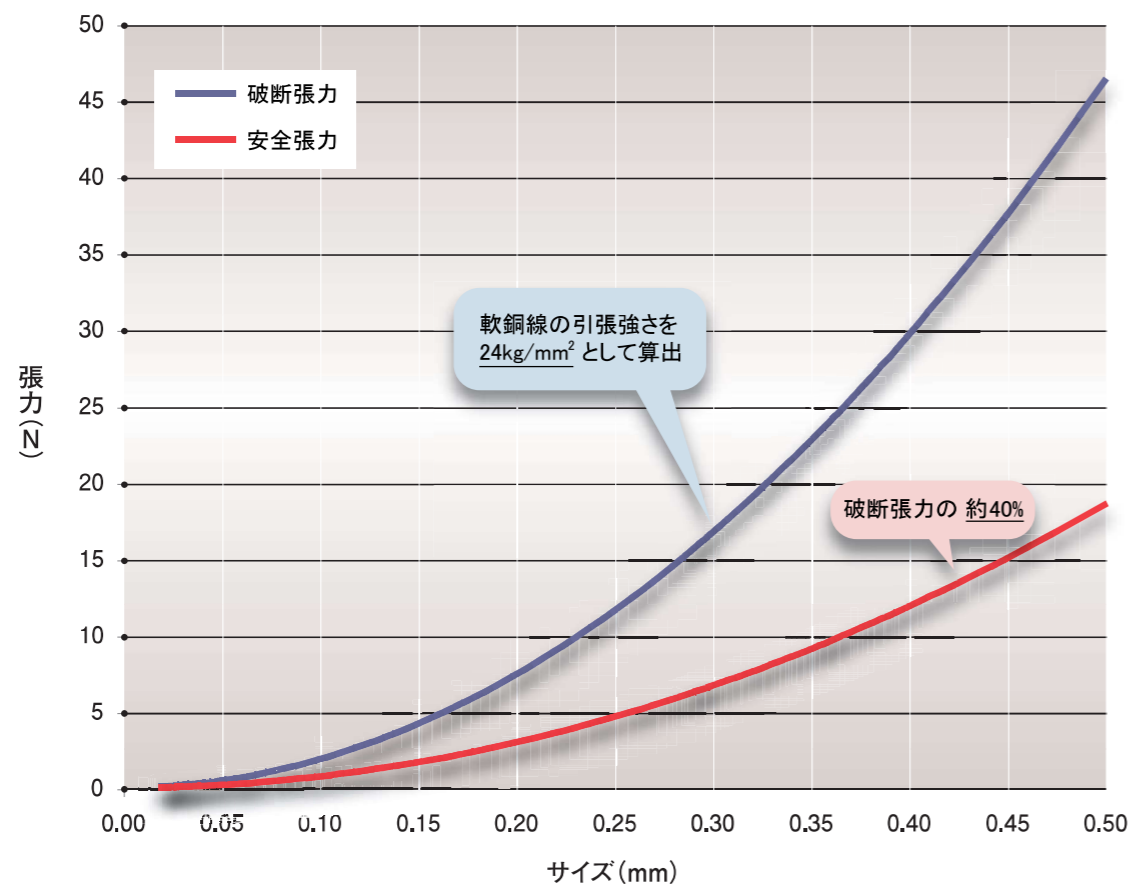
巻線に際しましては、過大な張力がかからないように注意して下さい。安全張力は破断張力の約40%に設定してあります。

安全張力表

サイズ (mm)	張 力			
	破断張力		安全張力	
	(N)	(gf)	(N)	(gf)
0.02	0.074	8	0.030	3
0.025	0.12	12	0.046	5
0.03	0.17	17	0.067	7
0.04	0.30	30	0.12	12
0.05	0.46	47	0.18	19
0.06	0.67	68	0.27	27
0.07	0.91	92	0.36	37
0.08	1.2	121	0.47	48
0.09	1.5	153	0.60	61
0.10	1.8	188	0.74	75
0.11	2.2	228	0.89	91
0.12	2.7	271	1.1	109
0.13	3.1	319	1.3	127
0.14	3.6	369	1.4	148
0.15	4.2	424	1.7	170
0.16	4.7	483	1.9	193
0.17	5.3	545	2.1	218
0.18	6.0	611	2.4	244

サイズ (mm)	張 力			
	破断張力		安全張力	
	(N)	(gf)	(N)	(gf)
0.19	6.7	680	2.7	272
0.20	7.4	754	3.0	302
0.21	8.2	831	3.3	333
0.22	8.9	912	3.6	365
0.23	9.8	997	3.9	399
0.24	11	1086	4.3	434
0.25	12	1178	4.6	471
0.26	13	1274	5.0	510
0.27	13	1374	5.4	550
0.28	14	1478	5.8	591
0.29	16	1585	6.2	634
0.30	17	1696	6.7	679
0.32	19	1930	7.6	772
0.35	23	2309	9.1	924
0.37	25	2581	10	1032
0.40	30	3016	12	1206
0.45	37	3817	15	1527
0.50	46	4712	18	1885

安全張力曲線



使用上の注意

電線の絶縁皮膜は大変薄く、傷付き易い為、取扱いによってはその性能を十分に発揮できないことがあります。以下の点に十分ご留意の上、ご使用下さい。

- ★ 巻枠に巻かれた電線を扱う際は、線に直接手を触れないようにし、巻枠の鏝に手をかけるようにして下さい。
- ★ 巻線に際しては、線が金属部、特にエッチ部等に接触しないよう、通線経路に注意して下さい。また、線はできるだけ真直に走るようガイド位置等を調整して下さい。
- ★ 巻線中の張力は、過大にならないようにして下さい。張力計等で確認できない場合は巻線前後に線の導体径測定を実施し、導体が伸ばされていない事の確認を推奨します。電線の張力は、安全張力(P12)を参考にして下さい。
- ★ 塵埃、特に金属粉、湿気を避けて下さい。
- ★ 巻線後含浸処理をする際は、クレージングの発生を防止する為に、予備加熱を行って下さい。又、絶縁皮膜の特性低下を避ける為、電線と含浸ワニスの適合性を十分確認してからご使用下さい。
- ★ 端末処理に剥離剤を用いる場合は、剥離箇所以外の絶縁皮膜に付着しないよう注意して下さい。

保管方法

- ★ 直射日光の当たる場所は避けて下さい。
- ★ 高湿度、高温度雰囲気は避け、急激な温度変化による結露の発生を避けて下さい。
- ★ 有機溶剤蒸気など特殊雰囲気中には保管しないで下さい。
- ★ 塵埃の多い場所には保管しないで下さい。
- ★ 電線どうしのぶつかりあい、他の物品とぶつからないように注意して下さい。
- ★ 長時間（製造後2年以上、但し融着線は1年以上）保管された電線は、ご使用前に特性をチェックし問題のないことをご確認の上、ご使用下さい。

環境法規制への対応

当社製品は、RoHS指令対応品です。環境法規制及びお客様からの要求事項に対応し、環境汚染の予防、環境負荷の低減に努めています。